

ドローンを活用した森林調査方法等に係る現地検討会 の開催結果について

令和4年11月15日
関東森林管理局
磐城森林管理署
森林技術・支援センター

1. 概要

近年、スマート林業、ICT林業としてUAVの活用、特にドローンを活用した森林資源計測等が行われており、林業の現場では様々な場面でドローンが活用されています。このようなことから、民有林への技術支援の取り組みとして、磐城森林管理署と森林技術・支援センターとの共催で、令和4年11月2日に「ドローンを活用した森林調査方法等に係る現地検討会」を開催しましたのでご紹介します。

2. 参加者

当日は、福島県出先機関6名、南相馬市役所1名、富岡町役場1名、広野町役場1名、日上市役所1名、林業事業体2名、(国研)森林総合研究所1名、磐城森林管理署8名、森林技術・支援センター5名の計26が参加しました。



主催者代表挨拶（高塚磐城森林管理署長）

3. 検討会内容

午前中は檜葉町コミュニティセンターにおいて、講師の齋藤先生（森林総合研究所）から「無人航空機に係る改正航空法等の概要や今後の動向」、「ドローンによる写真撮影の基礎」及び「ドローンを用いた森林調査の研究事例の紹介」の講演をいただきました。

また、参加者は、森林技術・支援センター職員からドローンの自動飛行設定方法についての説明を受け、タブレットを使用した自動飛行設定をしました。



講演（森林総合研究所 企画部国際戦略科
国際連携推進室長 齋藤 英樹 氏）



タブレットでの自動飛行(GS Pro)
の設定

午後からは、檜葉町大字大谷字郭公国有林に場所を移動し、ドローンの自動飛行のデモンストレーションをした後、参加者はドローンの使用経験により3班に分かれ、参加者全員で手動飛行と自動飛行の操縦体験をしました。

初めてドローンを操縦する方が6名いましたが、最初は戸惑いながらも真剣に取り組まれ、操縦に少し自信を持って帰られました。

また、現地検討会后、参加者から森林調査等に使用するため、ドローン購入に向けた問い合わせもあり、この検討会がとても有意義なものとなりました。



ドローンの飛行操縦体験の様子



真剣な眼差しの参加者

磐城森林管理署と森林技術・支援センターは、今後も、林業の成長産業化に貢献するため、林業の低コスト化・省力化について情報発信してまいります。

▼お問合せ先

関東森林管理局森林技術・支援センター 担当：業務グループ 菊池・中山・仲田
〒309-1625 茨城県笠間市来栖87-1 電話：0296-72-1146 FAX：0296-72-184